6. 施設の安全対策

近年発生した大きな地震では、家具類の転倒・落下や割れたガラスによる負傷者が、全体の約3割~5割を占めています。地震が起きた時、ピアノや大型機器類が転倒しませんか?本棚等は固定されていますか?非常持ち出し品はすぐに持ち出せる場所に置いていますか?子どもたちが日々安全に園生活を送るためにも日頃から施設の安全対策が必要です。

ここでは、その一例を示しますが、これが最も良い方法とは限りません。専門家の アドバイスを受けるなど、施設の状況に応じた安全対策を行いましょう。

1 施設の安全対策例

■アップライトピアノの転倒防止





■避難経路の確保



廊下に物を置かないことで、避難 経路が確保されている

■開き戸の施錠による収納物の落下防止



■照明器具の固定





直付けの照明(飛散防止対策済み蛍光灯)



直付けの照明(蛍光灯の落下防止対策)



蛍光灯破壊時の破片の落下防止カバー

■スピーカーの落下防止





■エアコンの固定





■家具等の固定





棚の固定例(床や壁にL字金具で直接固定。けがをしないよう、L字金具は内側に向けて固定。)



連結による本棚の転倒防止 (留め具は、 けがをしないようになっている。



キャスター付き棚の固定





机の固定 (職員室)



棚の固定 (職員室)



消火器の転倒防止



冷蔵庫の固定 (職員室)

2 非常持ち出し品・防災頭巾・ヘルメット

非常持ち出し品を備え付ける場所や持ち出し品の中身は、各園の状況により決めましょう。





保育室の出入り口付近に非常持ち出し品を備付け



職員室に非常持ち出し品を備付け



テラスに非常持ち出し品・ヘルメットを 備付け



職員室にAED、緊急地震速報機、無線 機を設置